

2026 年 12 月期第 2 四半期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
 代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司
 問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 岡 千織
 : (TEL) (06) 7635-1756

(百万円未満切捨て)

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

	当第2四半期累計期間 (2026 年 1 月～2026 年 6 月)		前第2四半期累計期間 (2025 年 1 月～2025 年 6 月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高 ※	86,550	－	79,934	－	+6,616	+8.3%
売上収益 ※	37,346	－	33,908	－	+3,438	+10.1%
営業利益	3,673	4.2%	3,042	3.8%	+631	+20.8%
経常利益	3,792	4.4%	3,327	4.2%	+464	+14.0%
四半期純利益	2,613	3.0%	2,302	2.9%	+311	+13.5%

(注)・当社の連結子会社は、可樂麗貿易（上海）有限公司、クラレトレーディングベトナムの 2 社です。
 ・連結財務諸表については監査法人のレビューの対象外です。

(2) 単体経営成績 (累計)

	当第2四半期累計期間 (2026 年 1 月～2026 年 6 月)		前第2四半期累計期間 (2025 年 1 月～2025 年 6 月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高 ※	80,451	－	74,708	－	+5,743	+7.7%
売上収益 ※	20,969	－	20,516	－	+453	+2.2%
営業利益	2,793	3.5%	2,386	3.2%	+406	+17.0%
経常利益	2,989	3.7%	2,596	3.5%	+393	+15.1%
四半期純利益	2,078	2.6%	1,816	2.4%	+262	+14.4%

※当社は、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日）等を適用しています。
 当該基準適用前（旧基準）での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

2. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年6月30日）は、繊維関連は、スポーツ衣料用途、資材関連ともに順調に推移し、化学品・化成品はアジア市場を中心に販売が拡大しました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は86,550百万円（前年同期比6,616百万円増、8.3%の増収）、売上収益は37,346百万円（同3,438百万円増、10.1%の増収）、営業利益は3,673百万円（同631百万円増、20.8%の増益）、経常利益は3,792百万円（同464百万円増、14.0%の増益）、四半期純利益は2,613百万円（同311百万円増、13.5%の増益）となりました。

セグメント別は以下の通りです。

以下＜ ＞の中の名称は(株)クラレの商標です。

【繊維関連】 （増収増益）

取扱高は22,640百万円（前年同期比1,152百万円増、5.4%の増収）、売上収益は16,584百万円（同775百万円増、4.9%の増収）、営業利益は1,569百万円（同255百万円増、19.4%の増益）となりました。

(衣料分野)

- 製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- 介護衣料用途は顧客の在庫調整で減収となりましたが、学校体育衣料および白衣は前年同期並みとなりました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

(資材分野)

- メディカル用途は、商品構成の見直しにより減収も、増益となりました。
- その他資材関連は、中国向け原糸販売やゴム資材、土木・鉄道用途等が好調に推移しました。
- 人工皮革〈クラリーノ〉は、車両用途が顧客の生産調整により減収減益となりました。

以上の結果、資材分野は増収増益となりました。

【化学品・化成品関連】 （増収増益）

取扱高は58,725百万円（前年同期比4,815百万円増、8.9%の増収）、売上収益は18,877百万円（同2,764百万円増、17.1%の増収）、営業利益は1,852百万円（同286百万円増、18.3%の増益）となりました。

- 中国を中心としたアジア市場を中心に販売が拡大しました。
- 輸入溶剤の販売は、仕入元の拡大により販売が伸長し、増収増益となりました。
- エラストマー成形材料〈クライン〉は、顧客の在庫調整と海外市場開拓の遅れにより、減収減益となりました。

【その他（環境資材、機能製品、ベルト製品）】 （取扱高増収、売上収益減収、増益）

取扱高は5,185百万円（前年同期比648百万円増、14.3%の増収）、売上収益は1,885百万円（同101百万円減、5.1%の減収）、営業利益は252百万円（同90百万円増、55.5%の増益）となりました。

- 国内では水処理用活性炭や工業膜等の販売は増加しましたが、中国での販売は減少しました。

(2) 2026 年 12 月期の連結業績予想(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

第 2 四半期までは中東情勢に関する供給不安等により需要は旺盛であった一方、第 3 四半期以降はその反動も想定され極めて不透明な状況にあります。そのような中ではありますが、中東情勢の影響を受け難い分野の貢献もあり、通期の業績は下表のとおり年初公表を上回ると予想しています。

(億円)

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
年初公表 (2026 年 2 月 19 日)	1,620	700	65	65	45
今回公表	1,700	740	70	70	50

＜注記＞上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上